

研究 Report

No. 6 令和2年12月 池袋本町小学校

今回の研究 Report では、第6回目の6年3組の研究授業の様子をお知らせします。今回の校内研究は、体育科で授業を行いました。今回の授業は、体育・道徳・学級活動・総合的な学習の時間の4教科を組み合わせた学習計画を設定しました。研究授業を行ったソフトバレーボールでは、情報モラルに含まれる日常モラルに絞って授業を行いました。日常モラルとは、やりたいことや欲しいものを我慢する「節度」、情報を正しく判断する「思慮」、適切なコミュニケーションをとる「思いやり」や「礼儀」、情報社会のルールを守るや正しいことを実行する「正義」や「規範」などが挙げられます。今回の授業のめあては、「みんなが安心して楽しめる安全な6年3組のオリジナルルールを作ろう」としました。ルールを作る上で、「自分は楽しめているが、周りの友達はどのように考えているのか。」と相手の気持ちを考えた上での話し合い活動や友達が試合中、良い動きや失敗した時にどのような声掛けをするのかを考えさせながら授業を展開しました。

単元名 ボール運動 ネット型「つながれ！！ソフトバレーボール」
【主な学習活動】

(1) 導入

学級活動で話し合ったルールで、試合をしました。前回の授業から固めのボールに変更しました。すると児童からは「ラリーが続かない。」と声が挙がりました。



(2) 展開

第1試合が終わったタイミングで、児童を集めて話し合いを行い、同じルールでもう1試合することになりました。試合中、チームのメンバーがミスをしたとしても責めるのではなく「ドンマイ」と励ます声掛けやファインプレーには「ナイス。拍手を送る。」など日常モラルを意識した声掛けが増えてきました。



(3) 展開②

2試合目を終えると各チームでオリジナルルールについて話し合いをしました。チームで話し合った結果をタブレット端末で入力し、全体で共有しました。話し合いでは、「固いボールは痛いし、怖い。」という意見から友達の気持ちを考えた上で、従来通りのソフトバレーボールに戻すことになりました。めあてである「安心して楽しめる安全なルール」を意識していました。



(4) まとめ

児童の振り返りより
「3試合目は、ラリーが続き楽しめた。楽しめるルールができた。」
「次回は、チームで練習して作戦を考えたい。」
とオリジナルのルールが完成し、次回の授業に向けて意欲を高めることができました。

